

日本アイソトープ協会の学術活動

平成25年度

発行 公益社団法人 日本アイソトープ協会

目 次

1. 会員	1
1.1 会員数の推移（会員種別、年度別）	1
1.2 所属部会別会員数（団体、賛助、特別、学生会員含む）	1
1.3 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）	1
2. 部会・委員会	2
2.1 理工学部会	2
2.1.1 概要	2
2.1.2 第24期理工学部会	2
2.2 ライフサイエンス部会	5
2.2.1 概要	5
2.2.2 第24期ライフサイエンス部会	5
2.3 医学・薬学部会	7
2.3.1 概要	7
2.3.2 第24期医学・薬学部会	7
2.4 放射線安全取扱部会	11
2.4.1 概要	11
2.4.2 第27期放射線安全取扱部会	11
2.5 その他の委員会	14
2.6 講演会・見学会等	16
2.6.1 理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会	16
2.6.2 放射線安全取扱部会	18
2.6.3 NMCC共同利用委員会	20
3. 第50回アイソトープ・放射線研究発表会	20
4. 講習会	21
4.1 原子力規制委員会・厚生労働省登録講習	21
4.1.1 第1種放射線取扱主任者講習	21
4.1.2 第3種放射線取扱主任者講習	21
4.1.3 放射線取扱主任者定期講習	22
4.1.4 第一種作業環境測定士（放射性物質）講習	23
4.2 その他講習会	23
4.2.1 アイソトープ基礎技術入門講習会	23
4.2.2 ラジオアイソトープ安全取扱講習会	23
4.2.3 密封線源安全取扱講習会	23
4.2.4 第1種主任者育成講習会	24
4.2.5 第2種主任者育成講習会	24
4.2.6 作業環境測定（放射性物質）のための準備講習会	24

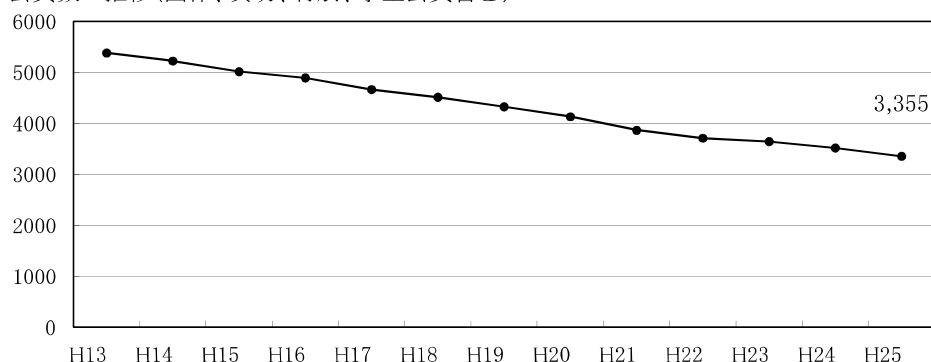
5. 図書等の発行	25
5.1 機関誌	25
5.1.1 Isotope News	25
5.1.2 RADIOISOTOPES	25
5.2 出版物等	26
5.3 東日本大震災対応	26
6. 共同利用	26
6.1 仁科記念サイクロトロンセンター共同利用	26
7. 普及・啓発	27
7.1 第17回（2013年）RADIOISOTOPES誌論文奨励賞	27
7.2 第50回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞	27
7.3 第23回滝沢研究所施設公開	27
7.4 武見記念館	27
7.5 第54回「科学技術週間」施設公開	27
7.6 公開講座	27
7.7 放射線教育及び一般への普及啓発推進プロジェクト	28
資料 部会活動の経過及び成果公表資料	29
1. 理工学部会	29
2. ライフサイエンス部会	35
3. 医学・薬学部会	38
4. 放射線安全取扱部会	46

1. 会員

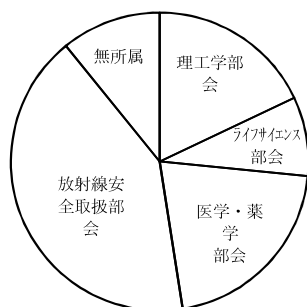
1.1. 会員数の推移（会員種別、年度別）（各年度3月末日現在） *学生会員：平成24年度から新設

区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
個人正会員	4,860	4,685	4,441	4,307	4,100	3,914	3,733	3,526	3,270	3,103	3,017	2,864	2,693
団体正会員	270	259	249	242	234	239	240	240	229	225	226	220	217
特別会員	206	233	285	304	293	325	319	331	336	352	370	400	402
賛助会員	47	46	41	39	37	34	34	34	32	30	30	28	26
学生会員*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17
計	5,383	5,223	5,016	4,892	4,664	4,512	4,326	4,131	3,867	3,710	3,643	3,517	3,355

会員数の推移(団体、賛助、特別、学生会員含む)



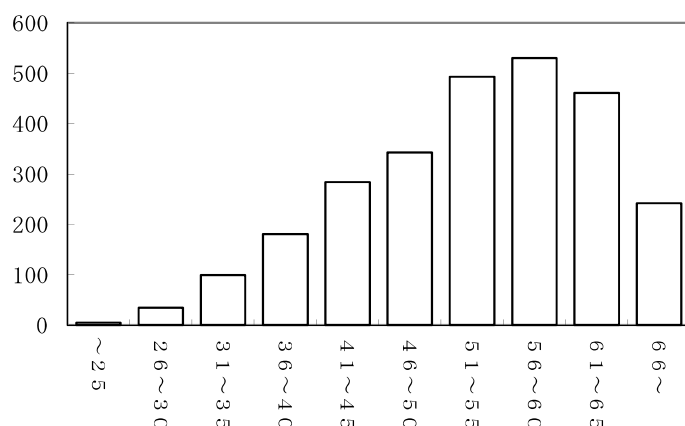
1.2. 所属部会別会員数（団体、賛助、特別、学生会員含む）（平成25年3月末日現在）



理工学部会	940
ライフサイエンス部会	450
医学・薬学部会	1,099
放射線安全取扱部会	2,179
無所属	567
延 計	5,235

(注) 会員は複数の部会に所属できる

1.3. 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）（平成25年3月末日現在）



2. 部会・委員会 *

2.1 理工学部会

2.1.1 概要

理工学部会ではアイソトープの理工学分野への利用に関する調査研究や部会員相互の研究連絡ならびに技術の向上に資するため、講演会、勉強会、見学会などを行うとともに、必要に応じ専門委員会を設けて、所要の調査・研究活動を実施しています。

2.1.2 第24期理工学部会（任期：平成24年6月～平成26年3月）の構成

常任委員会 理工学分野におけるR I・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。			
部会長	井口 哲夫		名古屋大学大学院工学研究科
副部会長	今泉 洋		新潟大学自然科学系（工学部）
	藤浪 眞紀		千葉大学大学院工学研究科
常任委員	青山 道夫		福島大学環境放射能研究所
	大石 晃嗣		清水建設(株)技術研究所
	神野 郁夫		京都大学大学院工学研究科
	鬼柳 善明		名古屋大学大学院工学研究科
	小嶋 拓治		(独)日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所
	後藤 彰		山形大学重粒子線がん治療施設設置準備室
	小林 久夫		立教大学名誉教授
	酒井 宏隆		(株)東芝 府中事業所
	柴田 徳思 *		(株)千代田テクノ
	白川 芳幸		(独)放射線医学総合研究所
	高橋 浩之		東京大学大学院工学系研究科
	田川 精一		大阪大学産業科学研究所
	檜野 良穂		(独)産業技術総合研究所
	松原 昌平		日立アロカメディカル(株)
	山本 匡吾		TPR(株)
	鷺尾 方一		早稲田大学理工学術院総合研究所理工学研究所

* 平成25年6月28日まで

放射線防護機器専門委員会 放射線施設における放射線防護用設備・機器の適切な使用に資するため、「放射線防護用設備・機器ガイド」を編集し利用者の便に供する。			
委員長	松原 昌平		日立アロカメディカル(株)
委員	草尾 豊		(株)千代田テクノ
	渋谷 均		東京医科歯科大学名誉教授
	白川 芳幸		(独)放射線医学総合研究所
	野村 貴美		元東京大学
	檜野 良穂		(独)産業技術総合研究所
	武藤 利雄		(地独)東京都立産業技術研究センター

*) 所属は平成26年3月現在

中性子応用専門委員会			
発展の著しい中性子関連のいくつかの先端技術の研究について、従来の中性子イメージングに加え、新たにいくつかのテーマを加え研究調査を行う。			
委員長	鬼柳 善明		名古屋大学大学院工学研究科
委員	飯倉 寛*		(独)日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門
	岩瀬 謙二		茨城大学工学部
	氏平 祐輔		東京大学名誉教授
	甲斐 哲也		(独)日本原子力研究開発機構J-PARCセンター
	兼松 学		東京理科大学理工学部
	川端 祐司		京都大学原子炉実験所
	篠原 武尚		(独)日本原子力研究開発機構J-PARCセンター
	竹中 信幸		神戸大学大学院工学研究科
	広田 克也		名古屋大学大学院理学研究科
	松嶋 卯月		岩手大学農学部
	持木 幸一		東京都市大学工学部

* 平成24年10月より

放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会			
東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に関連して、放射能測定等の作業に携わる実務者等を対象に、測定技術や除染技術等の情報収集、比較検討を行い、現状を踏まえた情報の提供等を通じ、知識・技術の普及啓発に取り組む。			
委員長	小嶋 拓治		(独)日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所
委員	大石 晃嗣		清水建設(株)技術研究所
	白川 芳幸		(独)放射線医学総合研究所
	松原 昌平		日立アロカメディカル(株)
	柚木 彰*		(独)産業技術総合研究所

* 平成25年2月より

放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会			
放射線に関する基礎的知識の普及ワーキンググループ*			
東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に関連して、放射線等に関する教育を受けていない一般の方を対象とし、主に放射性セシウムに重点を置いた、放射線・放射能に関する基礎的な知識の普及に係るテキストの作成を行う。			
主査委員	白川 芳幸		(独)放射線医学総合研究所
	飯本 武志		東京大学環境安全本部
	大石 晃嗣		清水建設(株)技術研究所
	木下 哲一		清水建設(株)技術研究所
	小嶋 拓治		(独)日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所
	田中 守		日立アロカメディカル(株)
	松原 昌平		日立アロカメディカル(株)

* 平成25年2月より

放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会

食品等の放射能測定のための分析法の規格化ワーキンググループ *

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故後の食品中及び環境試料中の放射性セシウムの測定に関する状況を受け、シンチレーションスペクトロメータ（主にNaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ）を用いた測定法に関して、標準試料及び標準測定手順の規格化を行う。

主 委 員	査	松原 昌平	日立アロカメディカル(株)
	員	海野 泰裕	(独)産業技術総合研究所
		川口 常昭	日立アロカメディカル(株)
		佐藤 泰	(独)産業技術総合研究所
		柚木 彰	(独)産業技術総合研究所
		山田 崇裕	(公社)日本アイソトープ協会

* 平成25年2月より

放射線理工学若手リーディングサークル *

放射線・同位体理工学に関連した研究・技術開発や社会貢献のあり方など、この分野の若手を呼び込むインセンティブとなるような提案について自由に発想し、可能であれば具体化に向けた検討を行う。

主 委 員	査	井口 哲夫	名古屋大学大学院工学研究科
	員	木下 哲一	清水建設(株)技術研究所
		佐藤 泰	(独)産業技術総合研究所
		島添 健次	東京大学大学院工学系研究科
		富田 英生	名古屋大学大学院工学研究科
		服部 可奈子	(株)東芝 府中事業所
		山下 真一	東京大学大学院工学系研究科

* 平成25年6月より

2.2 ライフサイエンス部会

2.2.1 概要

ライフサイエンス部会では、アイソトープのライフサイエンス分野への利用に伴う諸問題の調査研究、審議検討、連絡調整などを各専門委員会を中心に実施しています。

2.2.2 第24期ライフサイエンス部会（任期：平成24年6月～平成26年3月）の構成

常任委員会			
ライフサイエンス分野におけるR I・放射線の利用推進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。			
部会長	都筑 幹夫	東京薬科大学生命科学部	
副部会長	小島 周二	東京理科大学薬学部	
	林 徹	聖徳大学人間栄養学部	
常任委員	東 順一	大阪大学大学院工学研究科	
	井尻 憲一	東京大学名誉教授	
	伊藤 伸彦	北里大学副学長	
	稲波 修	北海道大学大学院獣医学研究科	
	大森 正之	中央大学理工学部	
	白岩 善博	筑波大学生命環境系	
	中西 友子*	東京大学大学院農学生命科学研究科	
	濱 健夫	筑波大学生命環境系	
	山川 武夫	九州大学大学院農学研究院	
	吉田 聡	(独)放射線医学総合研究所	
	米山 忠克	(独)農業・食品産業技術総合研究機構	

* 平成26年3月10日まで

企画専門委員会			
ライフサイエンス部会の活動全般にわたる企画・立案、調整・運営について検討し、常任委員会に意見具申する。			
委員長	白岩 善博	筑波大学生命環境系	
委員	笠井 清美	(独)放射線医学総合研究所	
	朽津 和幸	東京理科大学理工学部	
	小島 周二	東京理科大学薬学部	
	佐々木 徹	(地独)東京都健康長寿医療センター研究所	
	竹島 一仁	名古屋大学アイソトープ総合センター	
	田中 淳	(独)日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門	
	塚田 祥文	(公財)環境科学技術研究所／ 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	
	丹生谷 博	東京農工大学遺伝子実験施設	
	古川 純	筑波大学アイソトープ環境動態研究センター／生命環境系	
	星野 洪郎	群馬大学名誉教授	
	柳沢 啓	(独)放射線医学総合研究所	

安定同位元素専門委員会

安定同位元素に関し、その研究・利用の全般的な推進に資する活動を行う。

委員長	濱 健夫	筑波大学生命環境系
委員	足立 恭子	新日鉄住金化学(株)機能材料研究所
	折笠 敬	大陽日酸(株)メディカル事業本部
	風早 康平	(独)産業技術総合研究所
	梶原 康宏	横浜薬科大学
	佐仲 雅樹	城西国際大学薬学部
	高取 和彦	明治薬科大学薬学部
	田中 福代	(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター
	米山 忠克	(独)農業・食品産業技術総合研究機構

薬学・薬理学研究専門委員会

薬学・薬理学研究分野におけるアイソトープ利用の促進を図るための諸活動を行う。

委員長	小島 周二	東京理科大学薬学部
委員	加藤 真介	横浜薬科大学
	金子 実	東京理科大学環境安全センター
	佐々木 徹	(地独)東京都健康長寿医療センター研究所
	杉山 英男	松本大学人間健康学部
	平田 幸也	日本たばこ産業(株)医薬総合研究所
	堀江 正信	東京薬科大学薬学部

2.3 医学・薬学部会

2.3.1 概要

医学・薬学部会では、アイソトープの医学、薬学分野への利用に伴う諸問題の調査研究、審議検討、連絡調整などを専門委員会を中心に実施しています。

2.3.2 第24期医学・薬学部会（任期：平成24年6月～平成26年3月）の構成

常任委員会			
医学・薬学分野におけるR I・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。			
部会長	米倉 義晴		(独)放射線医学総合研究所
副部会長	小泉 潔		東京医科大学八王子医療センター
	佐治 英郎		京都大学大学院薬学研究科
	本田 憲業		埼玉医科大学総合医療センター
常任委員	油野 民雄		旭川医科大学名誉教授
	荒野 泰		千葉大学大学院薬学研究院
	伊藤 健吾		(独)国立長寿医療研究センター
	井上 登美夫		横浜市立大学大学院医学研究科
	遠藤 啓吾		京都医療科学大学
	大野 和子		京都医療科学大学医療科学部
	菅野 巖		(独)放射線医学総合研究所
	絹谷 清剛		金沢大学医薬保健研究域医学系
	桑原 康雄		福岡大学病院
	小須田 茂		防衛医科大学校
	渋谷 均		東京医科歯科大学名誉教授
	玉木 長良		北海道大学大学院医学研究科
	西村 哲夫		静岡県立静岡がんセンター
	福喜多 博義		国際医療福祉大学保健医療学部
	福田 寛		東北薬科大学
	細野 眞		近畿大学高度先端総合医療センター
	松田 博史		(独)国立精神・神経医療研究センター

企画専門委員会			
部会活動の見直しと活性化を図るため企画、立案、調整を行う。			
委員長	小泉 潔		東京医科大学八王子医療センター
委員	荒野 泰		千葉大学大学院薬学研究院
	尾川 浩一		法政大学理工学部
	織内 昇		佐久総合病院 佐久医療センター
	小泉 満		がん研有明病院
	棚田 修二		国際医療福祉大学三田病院
	中嶋 憲一		金沢大学医薬保健研究域医学系
	西村 哲夫		静岡県立静岡がんセンター
	福喜多 博義		国際医療福祉大学保健医療学部
	藤井 博史		(独)国立がん研究センター東病院

核医学イメージング・検査技術専門委員会

①核医学イメージング技術水準の向上に資するため、イメージングの規格化に関する検討を行う。

②核医学検査技術の向上と核医学機器の安全管理に関する調査・検討を行う。

委員長	本田 憲業	埼玉医科大学総合医療センター
副委員長	福喜多 博義	国際医療福祉大学保健医療学部
委員	井上 優介	北里大学医学部
	大西 英雄	県立広島大学大学院総合学術研究科
	小野口 昌久	金沢大学医薬保健研究域
	金谷 信一	東京女子医科大学病院
	菊池 敬	北里大学病院
	木田 哲生	滋賀医科大学医学部附属病院
	篠原 広行	首都大学東京名誉教授
	丸野 廣大	虎の門病院

放射性医薬品専門委員会

放射性医薬品の利用促進と施設内取扱いに関する検討を行う。

委員長	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
委員	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	井上 修	大阪大学大学院医学系研究科
	小野口 昌久	金沢大学医薬保健研究域保健学系
	金谷 信一	東京女子医科大学病院
	川井 恵一	金沢大学医薬保健研究域保健学系
	窪田 和雄	(独)国立国際医療研究センター病院
	藤林 靖久	(独)放射線医学総合研究所
	間賀田 泰寛	浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター
	安原 真人	東京医科歯科大学医学部附属病院

放射性医薬品安全性専門委員会

放射性医薬品の安全性確保に資するため、放射性医薬品副作用事例等の調査・検討を行う。

委員長	松田 博史	(独)国立精神・神経医療研究センター
委員	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	岡沢 秀彦	福井大学高エネルギー医学研究センター
	水村 直	東邦大学医療センター大森病院
	横山 邦彦	公立松任石川中央病院
	吉村 真奈	東京医科大学

ポジトロン核医学利用専門委員会

ポジトロン放出核種による放射性薬剤の成熟技術・成熟薬剤の認定と指針の作成を行い、PET検査の臨床利用に関する検討を行う。

委員長	米倉 義晴	(独)放射線医学総合研究所
副委員長	伊藤 健吾	(独)国立長寿医療研究センター
委員	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
	井上 登美夫	横浜市立大学大学院医学研究科
	織内 昇	佐久総合病院 佐久医療センター
	千田 道雄	先端医療センター
	玉木 長良	北海道大学大学院医学研究科
	畑澤 順	大阪大学大学院医学系研究科
	福田 寛	東北大学加齢医学研究所
	藤林 靖久	(独)放射線医学総合研究所
	間賀田 泰寛	浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター

医療放射線管理専門委員会 核医学検査等における放射線管理に関する検討を行う。			
委員長	大野 和子	京都医療科学大学医療科学部	
副委員長	菊地 透	自治医科大学R Iセンター	
委員	唐澤 克之	がん・感染症センター都立駒込病院	
	中村 豊	国立病院機構相模原病院臨床研究センター	
	松田 博史	(独)国立精神・神経医療研究センター	
	山口 一郎	国立保健医療科学院	

放射線治療専門委員会 密封線源等による放射線治療に関する検討を行う。			
委員長	西村 哲夫	静岡県立静岡がんセンター	
委員	伊丹 純	(独)国立がん研究センター中央病院	
	茂松 直之	慶応義塾大学医学部	
	渋谷 均	東京医科歯科大学名誉教授	
	土器屋 卓志	埼玉医科大学客員教授	
	中野 隆史	群馬大学医学部	
	萬 篤憲	国立病院機構東京医療センター	

放射線治療専門委員会 前立腺癌永久挿入治療推進ワーキンググループ 前立腺癌永久挿入治療法における安全取扱いと普及のための諸活動を行う。			
主査 委員	萬 篤憲	国立病院機構東京医療センター	
	青木 学	東京慈恵会医科大学医学部	
	伊丹 純	(独)国立がん研究センター中央病院	
	穎川 晋	東京慈恵会医科大学医学部	
	斉藤 史郎	国立病院機構東京医療センター	
	佐藤 威文	北里大学医学部	
	渋谷 均	東京医科歯科大学医学部名誉教授	
	土器屋 卓志	埼玉医科大学客員教授	
	西村 哲夫	静岡県立静岡がんセンター	
	橋本 光康	国際医療福祉大学保健医療学部	
	山中 英壽	医療法人社団美心会黒沢病院予防医学研究所	

全国核医学診療実態調査専門委員会* 5年毎に実施している「全国核医学診療実態調査」の第7回調査を平成24年6月に行い、取りまとめにあたる。			
委員長	桑原 康雄	福岡大学病院	
副委員長	絹谷 清剛	金沢大学医薬保健研究域医学系	
委員	井上 健太郎	東北大学加齢医学研究所	
	坂本 攝	獨協医科大学病院	
	下瀬川 恵久	大阪大学大学院医学研究科	
	竹岡 啓子	大阪大学医学部附属病院	
	竹田 芳弘	岡山大学大学院保健学研究科	
	外山 宏	藤田保健衛生大学医学部	
	新尾 泰男	帝京大学ちば総合医療センター	
	西山 佳宏	香川大学医学部	
	吉永 恵一郎	北海道大学大学院医学研究科	
	吉村 真奈	東京医科大学	

* 平成25年9月まで

アイソトープ内用療法専門委員会

アイソトープの内用療法を効果的に推進するため、医療安全の確保を図る適正使用のガイドライン等の作成に資する検討を行う。

委員長	遠藤 啓吾	京都医療科学大学
委員	油野 民雄	旭川医科大学名誉教授
	江口 研二	帝京大学医学部
	岡本 真一郎	慶應義塾大学医学部
	小椋 美知則	藤田保健衛生大学医学部
	絹谷 清剛	金沢大学医薬保健研究域医学系
	斉藤 史郎	国立病院機構東京医療センター
	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
	飛内 賢正	(独)国立がん研究センター中央病院
	成田 浩人	東京慈恵会医科大学附属病院
	西山 佳宏	香川大学医学部
	細野 眞	近畿大学高度先端総合医療センター
	山口 一郎	国立保健医療科学院
	池渕 秀治	(公社)日本アイソトープ協会
	中村 吉秀	(公社)日本アイソトープ協会

2.4 放射線安全取扱部会

2.4.1 概要

放射線安全取扱部会では、アイソトープ・放射線に関する公共の安全・安心を確保するため、アイソトープ・放射線の安全取扱、管理について技術の向上と知識の普及・啓発を図ること、また、アイソトープ・放射線に関する国民の理解と放射線を取り扱う専門家への信頼を深めるため、放射線取扱主任者をはじめ放射線障害の防止に関する専門知識を有する者の育成と地位向上に努めるための諸活動を実施しています。

2.4.2 第27期放射線安全取扱部会（任期：平成24年6月～平成26年3月）の構成

本部運営委員会		
部会の目的を達成するため、その運営を円滑に推進するとともに支部間の連絡調整を行う。		
部会長	宮越 順二	京都大学生存圏研究所
副部会長	松田 尚樹	長崎大学先端生命科学研究支援センター
	上菘 義朋	(独)理化学研究所仁科加速器研究センター
本部運営委員	稲波 修	北海道大学大学院獣医学研究科
	大槻 勤	東北大学電子光物理学研究センター
	鈴木 崇彦	東京大学大学院医学系研究科
	柴 和弘	金沢大学学際科学実験センター
	大河原賢一	製薬放射線コンファレンス
	中島 覚	広島大学自然科学研究支援開発センター
	百島 則幸	九州大学アイソトープ総合センター
	野村 貴美	東京大学大学院工学系研究科
	唐沢 克之	がん・感染症センター都立駒込病院

【支部組織】

各支部は、放射線安全取扱部会細則の目的に則り、統括する地域の部会員を対象に支部活動を行う。

北海道支部委員会		
支部長	稲波 修	北海道大学大学院獣医学研究科
委員	伊藤 慎二	北海道薬科大学薬学部
	野矢 洋一	北海道大学アイソトープ総合センター
	早川 均	北海道電力(株)泊発電所
	安原 優子	北海道大学大学院農学研究院

東北支部委員会		
支部長	大槻 勤	東北大学電子光物理学研究センター
委員	乾 恵美子	山形大学理学部
	河津 賢澄	福島大学理工学部
	坂根 正一	日立アロカメディカル(株)
	佐藤 和則	東北大学加齢医学研究所
	野田 喜美雄	日本原燃(株)

関東支部委員会

支 部 長	鈴木 崇彦	東京大学大学院医学系研究科
委 員	飯塚 裕幸	埼玉医科大学中央研究施設
	五十嵐 敏美	東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター
	江田 正明	ゼリア新薬工業(株)中央研究所
	大登 邦充	(株)千代田テクノル
	小柳 充	新潟大学農学部
	片岡 賢英	慶應義塾大学医学部
	金子 実	東京理科大学環境安全センター
	佐藤 斉	茨城県立医療大学保健医療学部
	高橋 克彦	獨協医科大学RIセンター
	松本 義久	東京工業大学原子炉工学研究所
	梁田 哲夫	日立アロカメディカル(株)

中部支部委員会

支 部 長	柴 和弘	金沢大学学際科学実験センター
委 員	加藤 浩	三重大学生命科学研究支援センター
	木村 敦*	(株)千代田テクノル
	小島 久	名古屋大学アイソトープ総合センター
	小山 修司	名古屋大学医学部保健学科
	日比 章五	(株)豊田中央研究所
	横山 須美	藤田保健衛生大学
	和田 真由美	福井大学ライフサイエンス支援センター

* 平成25年4月から

近畿支部委員会

支 部 長	大河原 賢一	製薬放射線カンファレンス
委 員	飯田 敏行	大阪大学大学院工学研究科
	稲垣 昌代	近畿大学原子力研究所
	大熊 浩志	日本メジフィジックス(株)
	尾崎 誠	京都工芸繊維大学高度技術支援センター
	佐々木 将博	(公財)先端医療振興財団先端医療センター
	鈴木 健二	(株)日本環境調査研究所
	谷 康輔	ポニー工業(株)
	松本 敦	(株)コーガアイソトープ
	矢鋪 祐司	日本たばこ産業(株)医薬総合研究所

中国・四国支部委員会

支 部 長	中島 覚	広島大学自然科学研究支援開発センター
委 員	秋山 浩一	愛媛大学総合科学研究支援センター
	北 実	鳥取大学生命機能研究支援センター
	坂口 修一	山口大学総合科学実験センター
	中西 徹	就実大学大学院医療薬学研究科
	三好 弘一	徳島大学アイソトープ総合センター

九州支部委員会

支 部 長	百島 則幸	九州大学アイソトープ総合センター
委 員	芦川 信雄	(一財)九州環境管理協会
	馬田 敏幸	産業医科大学アイソトープ研究センター
	岡島 敏浩	佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター
	萱野 信二	(株)千代田テクノル
	杉原 真司	九州大学アイソトープ総合センター

【本部組織】

企画専門委員会			
部会の根幹を支え部会の事業および組織全般に関して、企画立案し、審議・推進する。			
委員長	松田 尚樹	長崎大学先端生命科学研究支援センター	
委員	飯本 武志	東京大学環境安全本部	
	大倉 一枝	北海道医療大学薬学部	
	小野 俊朗	岡山大学自然生命科学研究支援センター	
	加藤 真介	横浜薬科大学薬学部	
	島崎 達也	熊本大学生命資源研究・支援センター	
	高橋 郁子	名城大学薬学部	
	角山 雄一	京都大学環境安全保健機構放射性同位元素総合センター分館	
	山下 順助	秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター	

広報専門委員会			
部会員相互のコミュニケーションと外部への広報活動を行い、部会員の資質向上と部会の地位向上に寄与する。			
委員長	上菘 義朋	(独)理化学研究所仁科加速器研究センター	
委員	池本 祐志	日本農薬(株)	
	小野 孝二	大分県立看護科学大学	
	川辺 睦	岡山大学大学院保健学研究科	
	鈴木 朗史	(独)日本原子力研究開発機構/長瀬ランダウア(株)	
	桧垣 正吾	東京大学アイソトープ総合センター	
	宮本 昌明	神戸大学研究基盤センター	
	吉田 浩子	東北大学大学院薬学研究科	

法令検討専門委員会			
放射線取扱主任者の立場から、法令に係る検討を行い、意見具申案を作成する。			
委員長	野村 貴美	東京大学大学院工学系研究科	
委員	角田 昌彦	(独)日本原子力研究開発機構原子力科学研究所	
	西沢 博志	三菱電機(株)先端技術総合研究所	
	原 正幸	東京医科歯科大学医歯学研究支援センター	
	榊本 和義*	高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター	
	矢野 和秀	(株)千代田テクノ	

* 平成25年4月から

2.5 その他の委員会

Isotope News編集委員会 Isotope Newsを編集、刊行する。		
委員長	小島 周二	東京理科大学薬学部
委員	高橋 浩之*	東京大学大学院工学系研究科
	長谷川 秀一**	東京大学大学院工学系研究科
	桧垣 正吾	東京大学アイソトープ総合センター
	福喜多 博義	国際医療福祉大学保健医療学部
	丸野 廣大	虎ノ門病院
	村松 康行	学習院大学理学部
	王 冰	(独)放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター

*平成25年12月まで **平成26年1月から

RADIOISOTOPES編集委員会 (任期：平成25年1月～平成26年12月) RADIOISOTOPESを編集、刊行する。		
委員長	下 道國	藤田保健衛生大学客員教授
副委員長	氏平 祐輔	東京大学名誉教授
委員	今泉 洋	新潟大学自然科学系(工学部)
	久保 謙哉	国際基督教大学教養学部
	小須田 茂	防衛医科大学校放射線医学講座
	小林 慶規*	(独)産業技術総合研究所
	柴田 徳思	(公社)日本アイソトープ協会
	杉浦 紳之	(公財)原子力安全研究協会
	高橋 浩之	東京大学大学院工学系研究科
	中西 友子**	東京大学大学院農学生命科学研究科
	藤井 博史	国立がん研究センター東病院

*平成26年3月31日まで

**平成26年3月10日まで

ICRP勧告翻訳検討委員会 (任期：平成24年6月～平成26年3月) 国際放射線防護委員会(ICRP)刊行物の日本語版の編集企画の検討を行う。下訳業者及び翻訳者の選定を行い、翻訳検討委員会による校閲とICRP国内メンバー等による監修を経て最終稿を決定し、ICRP刊行物「日本語版」を発行する。		
委員長	丹羽 太貫	ICRP主委員会、福島県立医科大学
副委員長	今村 恵子	前 聖マリアンナ医科大学放射線医学講座
委員	神田 玲子	(独)放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター
	佐々木康人	湘南鎌倉総合病院附属臨床研究センター
	鈴木 元	国際医療福祉大学クリニック
	藤元 憲三	元(独)放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究センター
	吉澤 道夫	(独)日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

NMCC共同利用委員会（任期：平成24年10月～平成26年9月）

NMCCの全国共同利用を円滑に推進する。

委員長	小川 彰	岩手医科大学
委員	石井 慶造	東北大学大学院工学研究科
	石川 和克	盛岡大学栄養科学部（旧・岩手県立大学看護学部）
	伊藤 伸彦	北里大学
	岩田 錬	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
	江原 茂	岩手医科大学医学部
	小笠原 邦昭	岩手医科大学医学部
	織原 彦之丞	東北大学名誉教授
	澤本 潤	岩手県立大学ソフトウェア情報学部
	小豆嶋 正典	岩手医科大学歯学部
	寺山 靖夫	岩手医科大学医学部
	藤村 朗	岩手医科大学歯学部
	久保 敦司	(公社)日本アイソトープ協会

2.6 講演会・見学会等

2.6.1 理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
6・22	国際ファッションセンタービル	講習会 第15回 有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89治療安全取扱講習会 1 放射線安全管理 (1)内用療法用放射性医薬品の安全管理 2 放射線安全管理 (2)法令、届出事項及び退出基準について 3 放射線安全管理 (3)放射線測定と放射性廃棄物の安全管理 4 臨床応用	医
7・4	東京大学 弥生講堂	インフォーマルミーティング (理工学部会連絡会) 1 放射線温故知新 (講演) 「日本における中性子放射化分析を顧みて —立教大学の果たした役割を中心に—」 戸村 健児氏 (立教大学名誉教授) 2 部会活動報告 (1)理工学部会の活動について (2)専門委員会報告 ・放射線防護機器専門委員会 ・中性子応用専門委員会 ・放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会	理
7・5 ～7・6	東京大学 弥生講堂 東京理科大学 森戸記念館	平成25年度エンライトニングセミナー 特別講義 放射線バイスタンダー効果での情報伝達分子としてのATP 教育講義 1 低線量放射線の健康影響と医療応用 2 環境放射能汚染の野生生物に対する影響 3 放射性物質の環境中移行挙動の研究について 4 生態系に及ぼすトリチウムの影響 企業紹介 研究室紹介 若手研究者等によるショートプレゼンテーション	ラ 理
7・20	日本アイソトープ協会	講習会 第24回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会 1 臨床応用 2 放射線安全管理—法令、届出事項及び退出基準について 3 読影・判定について 4 放射線安全管理—放射線測定及び放射性廃棄物の安全管理について 5 放射線安全管理—内用療法用放射性医薬品の安全管理 6 教育訓練—管理区域の入退室について 7 実習： ⁹⁰ Y-イブリツモマブ チウキセタンの標識調製法、標識率の確認、放射性廃棄物の処理方法等について	医

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
7・27	国際ファッションセンタービル	講習会 2013年度I-131 (1,110MBq) による残存甲状腺破壊 (アブレーション) の外来治療における適正使用に関する講習会 1 法令、届出事項及び退出基準 2 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理 —医療従事者の被ばく防止並びに患者及び家族に対する指示事項について— 3 放射線測定と放射性廃棄物の安全管理 4 臨床応用	医
11・30	エッサム神田本社ビル	講習会 第16回 有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89治療安全取扱講習会 内容は第15回 (6・22開催) に同じ	医
2・1	日本アイソトープ協会	講習会 第25回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会 内容は第24回 (7・20開催) に同じ	医
2・15	国際ファッションセンタービル	講習会 第16回 高線量率ラルス医療安全取扱講習会 1 密封小線源治療 —診療・物理QAガイドライン—HDR診療ガイドラインの解説 組織内照射を中心に 2 密封小線源治療 —診療・物理QAガイドライン—HDR物理QAガイドラインの解説 3 高線量率ラルスに関連した法令 4 婦人科がんの小線源治療の看護	医
2・15	国際ファッションセンタービル	講習会 第17回 ヨウ素125シード線源による前立腺癌永久挿入密封小線源治療の安全取扱講習会 1 シード療法総論 2 シード治療の看護～安全管理における看護師教育～ 3 シード療法の安全管理・測定 4 安全管理に関する最近の話題と課題	医
3・14	東京大学農学部2号館化学第3講義室	平成25年度安定同位体利用技術研究会 1 安定同位体 ¹³ C-化合物を用いた脳代謝について — <i>in vitro</i> , <i>ex vivo</i> , <i>in vivo</i> での研究— 2 安定同位体を使用したヒトの栄養に関する研究 3 安定同位体呼気試験の消化器疾患診断と治療効果への応用 4 海洋微細藻類における脂質メタボローム解析	ラ
3・23	日本アイソトープ協会	講習会 第17回 ヨウ素125シード線源による前立腺癌永久挿入密封小線源治療の安全取扱講習会 (再) 内容は第17回 (2・15開催) に同じ	医

2.6.2 放射線安全取扱部会

(1) 平成25年度放射線安全取扱部会年次大会（第54回放射線管理研修会）

月・日	会場、場所	演題等
11・14 ～15	鹿児島市民文化ホール	部会総会 部会の活動報告・活動計画 特別講演Ⅰ（原子力規制委員会原子力規制庁） 放射性障害防止法関係の最近の動向ー原子力規制委員会への業務移管ほかー 特別講演Ⅱ 明治維新と現代日本 特別講演Ⅲ シンポジウムⅠ 母親、子供たちに伝えたい放射線教育 シンポジウムⅡ 福島の放射線環境～その現状と課題 シンポジウムⅢ 次世代RI施設へのロードマップ ポスター発表 35題

(2) 研修会、勉強会及び法定の教育訓練講習会等

○本部運営委員会放射線教育資料作成ワーキンググループ

月・日	会場、場所	演題等
3・26	日本アイソトープ協会	第1回「放射線教育テキストを用いた教員研修会」

○北海道支部

月・日	会場、場所	演題等
4・26	北海道大学百年記念会館大会議室	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
6・8	北海道大学工学部正面玄関ホール及び工学部教室	平成25年度原子力オープンスクール（主催：日本原子力学会北海道支部。北海道大学工学部と共催）
11・22	北海道大学陽子線治療施設	見学会・支部交流会
1・31	北海道大学百年記念会館	北海道安全管理研修会・アイソトープ利用研究会（主催：北海道大学アイソトープ総合センター。共催：北海道支部。後援：日本放射線安全管理学会）

○東北支部

月・日	会場、場所	演題等
5・31	東京エレクトロンホール宮城	教育訓練講習会（新規教育・再教育）（東北放射線科学センターと共催）
1・17	東京エレクトロンホール宮城	放射線管理実務セミナー

○関東支部

月・日	会場、場所	演題等
4・24	日本青年館	教育訓練講習会ーラジオアイソトープの安全取扱Ⅰ（新規教育）
5・8	家の光会館	教育訓練講習会ーラジオアイソトープの安全取扱Ⅱ（新規教育）
5・14	家の光会館	教育訓練講習会ー密封線源・認証機器の安全取扱（新規教育・再教育）
5・29	国際ファッションセンタービル	教育訓練講習会ーラジオアイソトープの安全取扱Ⅲ（再教育）
10・31	家の光会館	教育訓練講習会ーラジオアイソトープの安全取扱Ⅳ（新規教育）
10・18	日本アイソトープ協会	教育訓練講習会ーラジオアイソトープの安全取扱Ⅴ（再教育）

○中部支部

月・日	会場、場所	演題等
5・10	名古屋商工会議所	第24回教育訓練講習会（新規教育・再教育）（中部原子力懇談会と共催）
10・7	（独）日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター・瑞浪超深地層研究所とペレトロン年代測定装置	見学会・支部交流会
3・7	東桜会館	研修会・支部交流会

○近畿支部

月・日	会場、場所	演題等
5・24	新梅田研修センター	教育訓練講習会Ⅰ（新規教育・再教育）
10・25	京都大学放射性同位元素総合センター	教育訓練講習会Ⅱ（新規教育・再教育）
2・4	大阪大学ラジオアイソトープ総合センター	研修会・見学会（大阪大学医学系研究科PET分子イメージングセンター）・交流会

○中国・四国支部

月・日	会場、場所	演題等
5・17	就実大学図書館	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
9・13	広島大学医学部第4講義室	研修会・交流会
12・21	広島大学自然科学研究支援開発センター	教職員セミナー「正しく理解する放射線」

○九州支部

月・日	会場、場所	演題等
4・16	福岡リーセントホテル	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
6・4	九州国際重粒子線がん治療センター	見学会

(3) 講師派遣

- ・45事業所等からの依頼を受けて法定教育訓練の講師を派遣した。
- ・大阪府との「放射性物質関係災害時等に関する協定」に基づき2事業所へ講師を派遣した。

2.6.3 NMCC共同利用委員会

第19回NMCC共同利用研究成果発表会

会 期	平成25年 5月17日～18日
会 場	岩手医科大学歯学部
主 催	日本アイソトープ協会・岩手医科大学
特 別 講 演	「アルツハイマー病の病態と診断 —PET検査の役割と問題点— 米澤久司（岩手医科大学内科学神経内科・老年科分野准教授）
発 表 演 題	36件（PET：7件、PIXE：28件、薬剤・基礎：1件）
参 加 者	85名
報 文 集	NMCC共同利用研究成果報文集19（2012） CD-ROM版 平成25年12月発行

3. 第50回アイソトープ・放射線研究発表会

会 期	平成25年 7月 3日～5日
会 場	東京大学 弥生講堂
主 催	日本アイソトープ協会
共 催 ・ 協 賛	63学協会
第50回記念特別セッション	第1部「アイソトープ・放射線研究発表会の歴史を顧みて」 第2部「素粒子研究の系譜」
特 別 講 演	・「宇宙開発に貢献する放射線利用 —宇宙用太陽電池の放射線劣化とその予測—」 ・「太陽光により発生する強い活性酸素の消去過程の増強による高収量性資源作物の作出 —地球温暖化を阻止するためのエネルギー、工業原料等の供給をめざして—」 ・「福島第一原発事故で放出された放射性物質の移行と蓄積」
パ ネ ル 討 論	・「福島第一原子力発電所事故により放出された放射性ヨウ素の環境分布の再構築と被ばく線量評価に向けて」 ・「加速器等を用いる新しい核プローブによる分析と応用」 ・「北から南から福島を踏まえた放射線教育の全国展開」
研究発表件数	182件（口頭発表：151件、ポスター発表：31件）
要 旨 集	第50回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集
参加登録者数	657名

（第50回アイソトープ・放射線研究発表会運営委員会）

4. 講習会

4.1 原子力規制委員会・厚生労働省登録講習

4.1.1 第1種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第353回	平成25年 4月 8日 ～ 4月12日	32名	32名
第354回	平成25年 4月22日 ～ 4月26日	32名	32名
第355回	平成25年 6月17日 ～ 6月21日	32名	32名
第356回	平成25年 7月 8日 ～ 7月12日	31名	31名
第357回	平成25年10月 7日 ～ 10月11日	30名	30名
第358回	平成25年11月11日 ～ 11月15日	31名	31名
第359回	平成25年11月25日 ～ 11月29日	32名	32名
第360回	平成25年12月 9日 ～ 12月13日	32名	32名
第361回	平成26年 1月20日 ～ 1月24日	32名	32名
第362回	平成26年 2月17日 ～ 2月21日	30名	30名
第363回	平成26年 3月 3日 ～ 3月 7日	32名	32名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第35条第2項に定める講習

対象 第1種放射線取扱主任者試験合格者で18歳以上の者

講習内容 (1) 放射線の基本的な安全管理に関する課目
(2) 放射性同位元素及び放射線発生装置並びに放射性汚染物の取扱いの実務に関する課目
(3) 使用施設等及び廃棄物詰替施設等の安全管理の実務に関する課目
(4) 放射線の量及び放射性同位元素による汚染の状況の測定の実務に関する課目
(5) 修了試験

会 場 協会会議室及び実習室

4.1.2 第3種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第16回	平成25年 7月 1日 ～ 7月 2日	24名	24名
第17回	平成26年 1月 9日 ～ 1月10日	23名	23名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第35条第4項に定める講習

対象 18歳以上の者

講習内容 (1) 法に関する課目
(2) 放射線及び放射性同位元素の概論
(3) 放射線の人体に与える影響に関する課目
(4) 放射線の基本的な安全管理に関する課目
(5) 放射線の量の測定及びその実務に関する課目
(6) 修了試験

会 場 協会会議室及び実習室

4.1.3 放射線取扱主任者定期講習

回	開催地	開催日	受講者数	修了者数
使1301回	飯田橋レインボービル (東京都新宿区)	平成25年6月10日	47名	47名
販1301回			2名	2名
使1302回	飯田橋レインボービル (東京都新宿区)	平成25年7月19日	41名	41名
販1302回			0名	0名
使1303回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成25年8月23日	25名	25名
販1303回			2名	2名
使1304回	北海道大学アイソトープ総合 センター(北海道札幌市)	平成25年9月6日	30名	30名
販1304回			0名	0名
使1305回	大阪大学コンベンションセンター ビル(大阪府吹田市)	平成25年9月13日	21名	21名
販1305回			1名	1名
使1306回	国際ファッションセンター ビル(東京都墨田区)	平成25年11月5日	32名	32名
販1306回			2名	2名
使1307回	つくば国際会議場 (茨城県つくば市)	平成25年12月6日	24名	24名
販1307回			0名	0名
使1308回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成25年12月16日	33名	33名
販1308回			1名	1名
使1309回	ピュリティまきび 白鳥 (岡山県岡山市)	平成25年12月20日	22名	22名
販1309回			0名	0名
使1310回	東桜会館 (愛知県名古屋市中区)	平成26年1月17日	28名	28名
販1310回			0名	0名
使1311回	仙台市情報・産業プラザ (宮城県仙台市)	平成26年1月31日	14名	14名
販1311回			0名	0名
使1312回	福岡リーセントホテル (福岡県福岡市)	平成26年2月24日	19名	19名
販1312回			0名	0名
使1313回	大阪大学中之島センター (大阪府大阪市)	平成26年2月28日	34名	34名
販1313回			0名	0名
使1314回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成26年3月14日	31名	31名
販1314回			3名	3名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第36条の2に定める講習

- 対象 (1) 下記事業所等の選任された放射線取扱主任者
- ・許可届出使用者
 - ・届出販売業者、届出貨貸業者（表示付認証機器のみを販売又は賃貸する者及び放射性同位元素等の運搬及び運搬の委託を行わない者を除く）
- (2) 選任された放射線取扱主任者以外の者で本講習の受講を希望する者

- 講習内容 (1) 法に関する課目
- (2) 放射性同位元素等の事故の事例に関する課目
- (3) 放射性同位元素等の取扱いに関する課目
- (4) 使用施設等の安全管理に関する課目

上記の内、講習種別によって必要な課目を受講

会場 東京、大阪及び全国の各都市

4.1.4 第一種作業環境測定士（放射性物質）講習 (厚生労働省登録)

回	会 期	受講者数	修了者数
第103回	平成25年 5月 9日 ～ 5月10日	35名	35名
第104回	平成25年 9月26日 ～ 9月27日	33名	32名
第105回	平成25年10月31日 ～ 11月 1日	36名	36名
第106回	平成26年 2月 6日 ～ 2月 7日	38名	37名

備考：目的 「作業環境測定士法」第5条に定める講習
 対象 第一種作業環境測定士試験合格者又は作業環境測定士法第14条第3項により試験の全科目免除者
 講習内容 (1) 放射性物質取扱作業室の作業環境について行う分析の実務
 会場 協会会議室及び実習室

4.2 その他講習会

4.2.1 アイソトープ基礎技術入門講習会

回	会 期	受講者数
第82回	平成25年 5月22日 ～ 5月24日	21名

備考：目的 非密封アイソトープの安全取扱いにおいて必要な基礎入門的な知識及び実習を通じて安全取扱いの基本の習得
 対象 特に新人教育向け
 講習内容 講義：アイソトープの基礎、人体への影響、測定技術、管理技術、放射線障害防止法
 実習：測定実習、取扱実習
 会場 協会会議室及び実習室

4.2.2 ラジオアイソトープ安全取扱講習会

回	会 期	受講者数
第42回	平成25年 6月 3日 ～ 6月 7日	42名

備考：目的 非密封ラジオアイソトープを安全に取扱うために必要な知識の習得
 対象 非密封ラジオアイソトープ取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、技術者
 講習内容 物理学、化学、生物学、測定技術、管理技術、放射線障害防止法
 会場 協会会議室

4.2.3 密封線源安全取扱講習会

回	会 期	受講者数
第55回	平成25年 5月27日 ～ 5月30日	11名

備考：目的 密封線源を安全に取扱うために必要な知識の習得
 対象 密封線源取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、技術者
 講習内容 アイソトープの基礎、測定技術、管理技術、生物影響、放射線障害防止法
 会場 協会会議室

4.2.4 第1種主任者育成講習会

回	会 期	受講者数
第19回	平成25年 7月29日 ~ 7月31日	31名

備考：目的 第1種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ
 対象 非密封ラジオアイソトープ取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、技術者
 講習内容 物理学、化学、生物学、測定技術、管理技術、放射線障害防止法
 会場 協会会議室

4.2.5 第2種主任者育成講習会

回	会 期	受講者数
第19回	平成25年 8月 1日 ~ 8月 2日	17名

備考：目的 第2種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ
 対象 密封線源取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、技術者
 講習内容 物理学、測定技術、管理技術、生物影響、放射線障害防止法
 会場 協会会議室

4.2.6 作業環境測定（放射性物質）のための準備講習会

回	会 期	受講者数
第1回	平成25年 9月25日	2名
第2回	平成25年10月30日	6名
第3回	平成26年 2月 5日	15名

備考：目的 サンプルングされた試料の放射能濃度を求めるための考え方と計算方法の習得
 対象 第一種作業環境測定士（放射性物質）講習を受講する者
 講習内容 放射性物質取扱作業室の作業環境について行う分析の実務
 会場 協会会議室

5. 図書等の発行

5.1 機関誌

5.1.1 Isotope News (広報誌) (No. 708 ~719) (Isotope News 編集委員会)

5.1.2 RADIOISOTOPES (学術誌) (Vol. 62 No. 4~Vol. 63 No. 3) (RADIOISOTOPES 編集委員会)

総説一覧

表 題
安定同位体比質量分析法を用いた食品産地判別研究の現状と課題 内部被ばくの防護に用いられる線量 Measurement methods of biobased carbon content for biomass-based chemicals and plastics 日本の国民線量—特に外国との比較— PET/MRI装置による臨床への応用 ダークマター “国産化 ⁹⁹ Mo/ ^{99m} Tcの医療運用に向けての課題” —我が国における ⁹⁹ Moの国内安定供給の方向性と課題—

連載講座

表 題
“メスバウアースペクトロメトリーの基礎と応用” 孤立分子・薄膜のメスバウアースペクトル (応用) メスバウアースペクトロメトリーの触媒研究への応用 —エチルベンゼン脱水素用鉄触媒を中心として— 集積型錯体のメスバウアースペクトル 光・スピン・電荷の協同作用による多重機能性金属錯体のメスバウアースペクトルによる研究 メスバウアースペクトロメトリーによるポルフィリン鉄錯体の電子状態決定法 ¹²¹ Sb、 ¹⁵¹ Eu、 ¹⁵⁵ Gd、 ¹⁷⁰ Yb、 ¹⁹⁷ Auのメスバウアースペクトロメトリーによる物質の構造・機能評価 希薄磁性酸化物の磁気特性とメスバウアースペクトル 磁性ナノ薄膜のメスバウアースペクトロメトリー— ¹¹⁹ Sn核を用いた研究— メスバウアースペクトロメトリーを用いた新規導電ガラスの局所構造解析 量子ビームを用いたインビーム・メスバウアースペクトロメトリー 電子論から見たメスバウアースペクトル “中性子散乱による原子・分子のダイナミクスの観測” I 連載講座を始めるにあたって—序説— II 原子・分子のダイナミクス「固体 (格子系)」 緒言 誘電体の相転移とダイナミクス 中性子散乱によるリラクサー強誘電体の格子ダイナミクスの研究 熱電材料とラットリング運動 III 原子・分子のダイナミクス「液体・非晶質・表面/界面」

特集

表 題
東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う土壌汚染に関する文部科学省大規模調査プロジェクトに関する資料

5.2 出版物等

- | | | | |
|--|-----|------------------------------------|------------|
| ① 第55回 第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例 | B5判 | 34ページ | 480円+税 |
| ② 第58回 第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例 | B5判 | 77ページ | 700円+税 |
| ③ 3版 放射線安全管理の実際 | B5判 | 450ページ | 3,300円+税 |
| ④ 2014年版 アイソトープ法令集 I —放射線障害防止法関係法令 | B5判 | 535ページ | 3,400円+税 |
| ⑤ 放射線障害の防止に関する法令 概説と要点 (改訂10版) | A5判 | 177ページ | 2,000円+税 |
| ⑥ 5版やさしい放射線とアイソトープ | A5判 | 135ページ | 1,400円+税 |
| ⑦ ICRP Publ. 112 新しい外部照射放射線治療技術による事故被ばくの予防 | B5判 | 79ページ ^{*1} | 4,300円+税 |
| | | ^{*1} 本文相当ページ (総括+本文) | |
| ⑧ ICRP Publ. 102 MDCTにおける患者線量の管理 | B5判 | 79ページ ^{*2} | 3,600円+税 |
| | | ^{*2} 本文相当ページ (要点+用語解説+本文) | |
| ⑨ ICRP Publ. 113 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練 | B5判 | 63ページ ^{*1} | 4,500円+税 |
| ⑩ 放射線業務従事者のための法令入門—これだけは理解しておきたい!— (DVD) | | | |
| | | DVD (映像60分)、CD-ROM (資料) | 105,000円+税 |

5.3 東日本大震災対応

- ① ICRP勧告日本語版の提供
- ・ ICRP Publ. 111 完成版PDF特別無償公開 (前年度に引き続き画面閲覧公開中)

6. 共同利用

6.1 仁科記念サイクロトロンセンター共同利用

		研究課題 (件)	割当回数 (回)	利用実績 (回)	備考
前 期	PET	6	49	65	検査数 92名
	PIXE	21	134	140	
	薬剤合成	1	12	3	
	合 計	28	195	208	
後 期	PET	7	49	67	検査数 97名
	PIXE	25	132	130	
	薬剤合成	1	12	4	
	合 計	33	193	201	
年度合計		61	388	409	

7. 普及・啓発

7.1 第17回（2013年）RADIOISOTOPES誌論文奨励賞
受賞者 7名

7.2 第50回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞
受賞者 11名

7.3 第23回滝沢研究所施設公開

日 時 9月 8日（日） 9:00～15:00

イベント 施設見学会（茅記念滝沢研究所・仁科記念サイクロトロンセンター・武見記念館）
講演会 岩手医科大学内科学神経内科・老年科分野准教授 米澤久司先生
「その物忘れ 認知症ですか？ —認知症について考えよう—」

施設見学会、無料健康相談、無料骨密度測定、毛髪分析、霧箱実演など

来場者 約600名

7.4 武見記念館

展示内容 現代医学展示

身のまわりのアイソトープ・放射線展示

人工臓器ロボット

武見太郎先生日本医師会会長在職中備品

開館時間 10:00～16:00

（土・日・祝祭日、創立記念日（5月1日）、年末年始（12月28日～1月5日）を除く）

来館者数 508名

7.5 第54回「科学技術週間」施設公開

日 時 4月15日（月）～ 4月19日（金）

茅記念滝沢研究所（医療RI廃棄物処理施設）

仁科記念サイクロトロンセンター（サイクロトロン、PET、PIXEなどの施設）

武見記念館（現代医学およびRI利用に関する展示）

7.6 公開講座

一般市民向けの公開講座

『市民のための公開講座・しゃべり場「食品照射って？ 消費者は、知らずに損をしていませんか？」』

開催日 7月5日（金） 15:50～18:20

主催 食のコミュニケーション円卓会議

共催 日本食品照射研究協議会、（公社）日本アイソトープ協会

会場 東京大学弥生講堂（第50回アイソトープ・放射線研究発表会と同時開催）

7.7 放射線教育及び一般への普及啓発推進プロジェクト

(1) 初等・中等における放射線教育に係る普及啓発活動

初等・中等教育を担う教職員等を対象とした放射線教育のための研修会を18回、パネル展示等による啓発活動を2回行った。

放射線安全取扱部会と連携して、教職員を対象とした放射線教育研修会等に使用する放射線教育テキストを作成するためワーキンググループを設置し、『放射線教育テキスト』を作成した。

放射線教育用線源 (^{133}Ba 370kBq) を高等学校に2回貸出しを行った。

(2) 福島県民健康管理調査「甲状腺検査」出張説明会への協力

福島県立医科大学が主催する県民健康管理調査「甲状腺検査」出張説明会に協力し、講師として医師を39会場に派遣した。

(3) 市民を対象とした放射線教育

福島県が主催する「食品と放射能に関する説明会」に放射線専門家を17回派遣した。

資 料 部会活動の経過及び成果公表資料

1. 理工学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI 装備機器調査専門委員会 〔昭和39年 4月～12月〕	○ 利用状況および問題点のアンケート調査 * 「放射性同位元素装備機器利用状況調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 3(1965)
ラジオグラフィ専門委員会 〔昭和39年 4月～43年 3月〕	○ γ 線ラジオグラフィ利用状況アンケート調査 * 「わが国における γ 線ラジオグラフィの利用状況」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965) ○ 感光材料の問題点検討 * 「ラジオグラフィにおける圧力効果による“フィルムむら”について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965) ○ ガンマ線ラジオグラフィ検査基準の確立および ¹⁹² Ir 線源国産化の検討 日本原子力研究所、ラジオグラフィ使用事業所（8社）、照射機メーカー（4社）と数回にわたって試用共同実験 * 以上の成果として、「ガンマ線ラジオグラフィ露出計算尺」作製（昭和41年10月。昭和48年実用新案登録）、「ガンマ線透過撮影法」（昭和43年3月刊行（1968））
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	○ 「RI 理工学利用文献集」（昭和48年以前は「RI 工業利用文献抄録集」）の編集を行い、RADIOISOTOPES 誌に毎号、理工文献題目集および理工文献紹介を掲載。
中性子水分計および γ 線密度計専門委員会 〔昭和40年 2月～44年 5月〕	○ 水分計、密度計の安定性に関する共同実験（14事業所が参加） * 「中性子水分計およびガンマ線密度計の安定性に関する共同実験結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 16, No. 2(1967) ○ 土の密度と含水量測定におけるRI法と在来法の比較共同実験 ○ 中性子水分計およびガンマ線密度測定法マニュアルの検討（未完結）
オートラジオグラフィ専門委員会 〔昭和42年10月～45年 5月〕	○ 金属オートラジオグラフィにおける感光材料の解像力に関する共同実験 * 「理工学におけるオートラジオグラフィの最近の研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 1(1970) * 「放射性銀試験体を用いたマイクロオートラジオグラフィの分解能に関する研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 11(1970)
線源専門委員会 〔昭和43年 5月～44年 3月〕	○ 各種密封線源について利用開発上の問題点、検査法等について検討

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
環境汚染物質の放射化分析に関する専門委員会 〔昭和46年 9月～49年11月〕	○ 技術上の問題点、利用促進のための当面および将来の体制整備等に関する検討 * 「環境汚染物質の放射化分析における諸問題」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975)
硫黄分析計専門委員会 〔昭和46年 9月～52年 9月〕	○ 硫黄分析計利用状況アンケート調査 石油中重金属の測定値に及ぼす影響に関する共同実験、硫黄分測定照合実験（参加20機関） * 「RI式硫黄分析計による重油試料測定上の問題点 1. 放射線透過式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 11(1975) * 「（同上）2. 放射線励起式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975) * 「（同上）3. 照合試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 2(1976) * 「JIS K2285-1978 石油製品放射線透過式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定） * 「JIS K2286-1978 石油製品放射線励起式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定）
流れの測定に関する専門委員会 〔昭和46年10月～49年 3月〕	○ 野外および各種工程における気体、液体、粉体の流れ・拡散の測定へのRI利用測定技術について検討 * 「表面水流れ測定へのアイソトープの利用」、 「化学反応装置内の流れの測定」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 3(1976)
環境物質放射化分析専門委員会 〔昭和50年 1月～51年 1月〕	○ 利用状況アンケート調査 * 「放射化分析利用の手引き 環境調査と放射化分析一」（昭和51年5月）を自治体公害調査部門等へ配布 * 「環境物質の調査における放射化分析の利用状況」 Isotope News誌、昭和50年12月号(1975)
環境物質放射化分析マニュアル作成検討専門委員会 〔昭和51年 7月～52年 9月〕	○ 上記2専門委員会の活動成果に基づき、環境試料の放射化分析技術に関する手引書の作成について予備的検討 * 「放射化分析による環境調査一微量・多元素・同時分析の手法」（昭和54年3月刊行(1979)）
放射能標準体使用マニュアル作成専門委員会 〔昭和52年 2月～56年 7月〕	○ 各種の放射能標準体・標準線源の適正な使用に資する解説書の作成 * 「放射能標準体・標準線源とその使用法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 3～12(1979)、 Vol. 29, No. 1(1980) 昭和56年5月単行書刊行(1981)
利用機器専門委員会 〔昭和53年 6月～57年 5月〕	○ 放射性同位元素装備機器管理基準に関する調査（科学技術庁委託） * 「JIS Z4821 1981 密封放射線源」原案を作成（昭和56年3月制定） * 「RI装備機器・設計承認制度について」 Isotope News誌、昭和56年5月号(1981)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI野外トレーサ利用専門委員会設立検討会 〔昭和58年 3月～ 9月〕 放射線防護機器専門委員会 〔昭和58年 6月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ RI野外トレーサ実験実施上の問題点を抽出し、野外トレーサ利用促進のための専門委員会作業の要否を明らかにし、専門委員会設置の要を報告 ○ 放射線防護機器に関する資料を収集・検討し、隔年毎に「放射線防護用設備・機器ガイド」を編集・発行。 <ul style="list-style-type: none"> * 「1982年版」 (昭和57年発行) * 「1984年版」 (昭和59年発行) * 「1986/87年版」 (昭和61年発行) * 「1988/89年版」 (昭和63年発行) * 「1990/91年版」 (平成2年発行) * 「1992/93年版」 (平成4年発行) * 「1994/95年版」 (平成6年発行) * 「1996/97年版」 (平成8年発行) * 「1998/99年版」 (平成10年発行) * 「2000/01年版」 (平成12年発行) * 「2002/03年版」 (平成14年発行) * 「2004/05年版」 (平成16年発行) * 「2006/07年版」 (平成18年発行) * 「2008/09年版」 (平成20年発行) * 「2010/11年版」 (平成22年発行) * 「2012/13年版」 (平成24年発行)
RI野外トレーサ実験調査委員会 〔昭和59年 4月～平成 2年 6月〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ RI野外利用の実施を促すため、理工学、農学・生物学の分野で実験の実現が望まれている代表的なモデルについて検討を行うとともに科学技術庁と懇談、折衝。技術基準・安全基準の検討、アンケート調査の実施、講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> * 「RI野外トレーサ利用アンケート集計結果報告」 Isotope News誌、昭和62年5月号“あいそとびっく”(1987) * 「放射性トレーサの野外・現場利用の歴史と現状」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 4～6(1988) * 「放射性トレーサの野外・現場利用推進上の問題点」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 6(1990)
密封放射線源JIS改訂専門委員会 〔昭和60年 4月～12月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「JIS Z4821密封放射線源」 (昭和56年3月制定)の見直し
原子力用語JIS改訂専門委員会 〔昭和61年 8月～平成 4年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本工業規格「JIS Z4001原子力用語」の改訂に当たり、「放射線・アイソトープ利用・防護」部門の用語について調査検討。
理工分野における放射性廃棄物検討専門委員会 〔平成 3年 9月～ 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「研究分野における放射性廃棄物の取扱い」 (平成6年5月刊行(1994))

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
微弱アイソトープ利用技術専門委員会 〔平成 4年 6月～10年 5月〕	○ 微弱アイソトープ利用の促進と安全性の確保について調査・検討 * 「IAEA安全シリーズ No.102、工業、医学、研究、教育分野におけるアイソトープの安全使用と規則に関する勧告の抄訳」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 3(1995) * 「微弱アイソトープの安全利用に関する調査研究報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 2～4(1999)
放射性同位体等の産業利用専門委員会 〔平成 7年 8月～12年 5月〕	○ 産業分野におけるRI利用技術の調査、許認可申請の標準化について検討を行った。 * 「RI・放射線の産業利用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 46, No. 5～10(1997) * 「放射性同位体等の産業利用専門委員会報告書」 (平成12年5月)
放射線教育専門委員会 〔平成7年 8月～16年 5月〕	○ 放射線教育入門テキスト〔ライフサイエンス分野編〕を編集し、テスト版として発行（平成10年3月）。 放射線教育入門テキスト〔医学・臨床分野編〕を（平成11年1月）編集し、テスト版として発行。
量子ビーム専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ ①新しい量子ビームの発生と利用、②半導体プロセスや医療への放射線利用、③量子ビーム利用に関する法規制の最適化等について検討を行うとともに、外部利用を受け付けるビーム利用施設の調査を行う。 * 「日本における研究用加速器施設の現状アンケートに関する中間報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 7(2003) * 「日本における研究用加速器施設の現状(2005)調査報告と量子ビーム利用の広がり」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 12(2005)
放射線イメージング専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ 放射線イメージングの技術・学問内容について調査し、他のイメージング技術も参照しつつ、放射線イメージング技術の新しい方向について検討。 * 「放射線イメージング技術の最前線」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 10～Vol. 53, No. 6(2003～2004)
超低レベル放射能測定専門委員会 〔平成16年 9月～平成24年 5月〕	○ 通常の放射線計測技術では測定が困難なあるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。 * 「超低レベル放射能測定の現状と展望」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 4～No. 11(2006) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。 * 「液体シンチレーションカウンタによる測定の現」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 2(2012)に掲載 (4

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>中性子イメージング専門委員会 〔平成17年 9月～平成22年 5月〕</p> <p>RI・放射線 一般向け教育実験ノート ワーキンググループ</p>	<p>○ 中性子ラジオグラフィの現状を認識し、その技術の発展と展望を探るための調査・検討を行う。 * 「中性子イメージング技術の基礎と応用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 4～Vol. 57, No. 5 (2007～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。</p> <p>○ RI・放射線関係者以外の人達にRI・放射線、ひいては自然現象に対する理解を深めて貰うことに寄与するため、RI・放射線等に関する教育的実験についての情報を集め、取り纏めてIsotope News誌に掲載。このような実験を多くの場で取り入れてもらう一助とする。 * 「RI・放射線 一般向け教育実験ノート」 Isotope News誌、平成18年4月号～平成19年5月号、平成20年3月号～5月号、7月号～12月号(2006～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。</p>
<p>中性子応用専門委員会 〔平成22年 6月～現在〕</p>	<p>○ 発展の著しい中性子関連の幾つかの先端技術の研究について、従来の中性子イメージングに加え、新たに幾つかのテーマを加え研究調査を行う。 * 「パルス中性子を用いた分光的イメージング」 Isotope News誌、平成22年6月号 “展望” (2010)</p> <p>「農林水産加工分野にひらける中性子イメージング」 Isotope News誌、平成23年2月号 “展望” (2011)</p> <p>「中性子の産業利用（トライアルユース）：中性子ラジオグラフィ」 Isotope News誌、平成23年2月号 “利用技術” (2011)</p> <p>* 「日本の小型加速器中性子源施設（中性子イメージング利用を中心に）」 Isotope News誌、平成26年1月号 “利用技術” (2014)</p>
<p>放射能測定・除染技術等に関する調査検討 専門委員会 〔平成24年 6月～26年 3月〕</p>	<p>○ 東京電力福島第一原子力発電所事故に関連して、測定技術や除染技術等について現状を踏まえた情報の提供等を通じ、知識・技術の普及啓発に取り組む。検知・除染等の技術に係る研究開発の現状を紹介する記事企画をIsotope News誌に提供するほか、ワーキンググループを設置して放射線に関する基礎的知識の普及および食品等の放射能測定のための分析法の規格化に関する検討を行う。 * 「面で捉える汚染分布の測定技術 —ファイバー検出器による放射性セシウムの測定—」 Isotope News誌、平成25年10月号 “TRACER” (2013)</p> <p>「CdTeを用いた放射能分布測定技術」 Isotope News誌、平成25年10月号 “TRACER” (2013)</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射能測定・除染技術等に関する調査検討 専門委員会 〔平成24年 6月～26年 3月〕	「臭化タリウム半導体検出器」 Isotope News誌、平成25年11月号“TRACER” (2013) 「原子炉事故におけるβ線被ばく」 Isotope News誌、平成25年11月号“TRACER” (2013) 「USB駆動型PSF空間線量当量率測定システムの実 用化と測定実績」 Isotope News誌、平成25年12月号“TRACER” (2013)
放射能測定・除染技術等に関する調査検討 専門委員会 放射線に関する基礎的知識の普及ワーキン ググループ 〔平成25年 2月～26年 3月〕	○ 東京電力福島第一原子力発電所事故に関連して、放 射線等に関する教育を受けていない一般の方を対象 とし、主に放射性セシウムに重点を置いた、放射 線・放射能に関する基礎的な知識の普及に係るテキ ストの作成を行う。
放射能測定・除染技術等に関する調査検討 専門委員会 食品等の放射能測定のための分析法の規格 化ワーキンググループ 〔平成25年 2月～26年 3月〕	○ 東京電力福島第一原子力発電所事故後の食品中及び 環境試料中の放射性セシウムの測定に関する状況を 受け、シンチレーションスペクトロメータ（主に NaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ）を用 いた測定法に関して、標準試料及び標準測定手順の 規格化を行う。
放射線理工学若手リーディングサークル 〔平成25年 6月～現在〕	○ 放射線・同位体理工学に関連した研究・技術開発や 社会貢献のあり方など、この分野の若手を呼び込む インセンティブとなるような提案について自由に発 想し、可能であれば具体化に向けた検討を行う。

2. ライフサイエンス部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	○ 「RI農学・生物学利用文献集」（昭和55年2月までは「RI農学・生物学利用文献抄録集」）の編集を行い、RADIOISOTOPES誌に毎号、農学・生物学文献題目集および農学・生物学文献トピックスを掲載。
ラジオガスクロマトグラフィ専門委員会 〔昭和43年 3月～50年 9月〕	○ 農学・生物学分野におけるラジオガスクロマトグラフィに関する技術の利用開発、普及について調査、検討。
¹⁵ N専門委員会 〔昭和48年 9月～51年 2月〕	○ 内外の関係文献の調査と勉強会などを開催し、利用の知識・方法の普及を検討。 安定同位元素専門委員会へ発展的に改組。
安定同位元素専門委員会 〔昭和51年 3月～現在〕	○ 安定同位元素に関し、その研究・利用の全般的な推進に資する活動を行う。 * 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 6～Vol. 57, No. 3, Vol. 57, No. 9(2007～2008) 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 7, No. 11(2010) 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 3(2012)、Vol. 62, No. 2, No. 4(2013)
微量RIの管理に関する専門委員会 〔昭和48年 9月～57年 5月〕	○ 生化学分野における微量RIの使用施設の在り方、排水処理の方法、貯蔵・保管の方法、固体廃棄物・有機廃液の処理等の可能性について検討。
遺伝子工学専門委員会 〔昭和61年10月～平成 4年 5月〕	○ 生物学関連の遺伝子工学分野におけるRI利用状況を調査 * 「遺伝子工学実験講座」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 10～Vol. 38, No. 2, 4(1987～1989) 合本し、「遺伝子工学実験 Strategy & Practice」として平成3年5月出版(1991)。
アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕	○ RIをトレーサとして用いる研究用機器について、その原理、性能、特徴および適切な用途等の最新情報を収集し、公表した。 * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 10～No. 12, Vol. 43, No. 1(1993～1994) * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第二シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8～No. 12, Vol. 45, No. 1～No. 2(1995～1996)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕</p>	<p>* 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第三シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 11～No. 12、 Vol. 48, No. 1～No. 5、No. 7～No. 9、No. 11～No. 12 Vol. 49, No. 1～No. 2、No. 10～No. 12、 Vol. 50, No. 1～No. 2(1998～2001) 第一、第二シリーズの合本冊子を作成。 第三シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成14年2月)</p> <p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第四シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 3～No. 6、 Vol. 53, No. 3、Vol. 54, No. 1～No. 2、No. 7～ No. 8(2003～2005) 第四シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成17年9月)</p> <p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第五シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 7～No. 10、 Vol. 56, No. 3～No. 4、No. 9、Vol. 57, No. 2、 Vol. 58, No. 7 (2006～2009)</p>
<p>分子生物学分野のRI取扱専門委員会 (平成8年6月より、「ライフサイエンス分野 のRI取扱専門委員会」に名称変更) 〔平成 4年 6月～平成14年 5月〕</p>	<p>○ 分子生物学分野（ライフサイエンス分野）におけるRI取扱上の諸問題について安全で円滑な利用を図るための調査、検討を行った。</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告」 Isotope News誌、平成6年9月号“会員へのお知らせ”（1994）</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告 －「監督区域」設置の可能性を探るアンケートの結果－」 “会員へのお知らせ”（1995）</p> <p>* 「ライフサイエンスの話題」 Isotope News誌、平成15年2月号～5月号(2003)</p>
<p>薬学・薬理学研究専門委員会 〔平成 6年11月～現在〕</p>	<p>○ 薬学・薬理学研究分野におけるRI利用の問題点を調査した。</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分野のRI取扱いに関するアンケート結果－」 Isotope News誌、平成9年4月号“会員へのお知らせ”（1997）</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分野における放射線・放射能計測法に関するアンケート結果－」 Isotope News誌、平成11年11月号“会員へのお知らせ”（1999）</p> <p>* 「R I 計測のためのQ & A」 協会ホームページに掲載。（平成17年7月）(2005)</p> <p>* 「マイクロドーズ試験の現状と展望」 Isotope News誌、平成20年4月号“展望”（2008）</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
獣医核医学専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕	○ 伴侶動物への核医学診療における諸問題の検討を行う。 * 「獣医核医学専門委員会 中間報告書」 (平成15年9月2日)(2003)
食品照射専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕	○ 食品照射についての内外の情報を集め、調査・検討を行う。 * 「食品照射に関するQ & A」 協会ホームページに掲載。(平成20年11月)(2008)

3. 医学・薬学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>インビトロテスト専門委員会 〔昭和46年 9月～平成22年 5月〕</p>	<p>* 「RIインビトロ検査全国コントロールサーベイ」 (第1回～21回までRADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>* 「イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイ」 (第22回より名称変更。RADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>第1回 (1978年実施)、Vol. 29, No. 11 (1980) 第2回 (1979年実施)、Vol. 30, No. 1 (1981) 第3回 (1980年実施)、Vol. 31, No. 7 (1982) 第4回 (1982年実施)、Vol. 32, No. 6 (1983) 第5回 (1983年実施)、Vol. 32, No. 7, 8 (1983) 第6回 (1984年実施)、Vol. 34, No. 9 (1985) 第7回 (1985年実施)、Vol. 35, No. 10 (1986) 第8回 (1986年実施)、Vol. 36, No. 10 (1987) 第9回 (1987年実施)、Vol. 37, No. 11 (1988) 第10回 (1988年実施)、Vol. 38, No. 10 (1989) 第11回 (1989年実施)、Vol. 39, No. 10 (1990) 第12回 (1990年実施)、Vol. 40, No. 10 (1991) 第13回 (1991年実施)、Vol. 41, No. 11 (1992) 第14回 (1992年実施)、Vol. 42, No. 11 (1993) 第15回 (1993年実施)、Vol. 43, No. 10 (1994) 第16回 (1994年実施)、Vol. 44, No. 11 (1995) 第17回 (1995年実施)、Vol. 45, No. 11 (1996) 第18回 (1996年実施)、Vol. 46, No. 11 (1997) 第19回 (1997年実施)、Vol. 47, No. 11 (1998) 第20回 (1998年実施)、Vol. 48, No. 11 (1999) 第21回 (1999年実施)、Vol. 49, No. 10 (2000) 第22回 (2000年実施)、Vol. 50, No. 10 (2001) 第23回 (2001年実施)、Vol. 51, No. 10 (2002) 第24回 (2002年実施)、Vol. 52, No. 10 (2003) 第25回 (2003年実施)、Vol. 53, No. 10 (2004) 第26回 (2004年実施)、Vol. 54, No. 10 (2005) 第27回 (2005年実施)、Vol. 55, No. 10 (2006) 第28回 (2006年実施)、Vol. 56, No. 10 (2007) 第29回 (2007年実施)、Vol. 57, No. 10 (2008) 第30回 (2008年実施)、Vol. 58, No. 10 (2009)</p> <p>* 「The Large “Kit-to-Kit” Variation in Insulin Radioimmunoassay is Mainly Due to Defference in Standard Concentration」 CHEMISTRY, Vol. 28, No. 12</p> <p>* 「An Inter- and Intra-laboratory Quality-Control Survey of Radioimmunoassay of Insulin, Thyroxin, Thyrotropin, Cortisol, Digoxin, Gastrin, β2-Microglobulin and IgE in Japan with Commercially Available Kits」 CHEMISTRY, Vol. 29, No. 8</p> <p>* 「RIインビトロ検査の現状と問題点」 Isotope News誌、1992年2～3月号</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射性医薬品安全性専門委員会 〔昭和50年10月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「放射性医薬品副作用事例調査報告」 核医学、16巻3号(1979) * 「第2回放射性医薬品副作用事例調査報告」 核医学、18巻3号(1981) * 「放射性医薬品副作用事例調査報告」 (第3報～33報まで『核医学』に掲載) 第3報(19巻7号(1982))、第4報(20巻4号(1983)) 第5報(21巻3号(1984))、第6報(22巻4号(1985)) 第7報(23巻4号(1986))、第8報(24巻4号(1987)) 第9報(25巻4号(1988))、第10報(26巻4号(1989)) 第11報(28巻3号(1991))、第12報(28巻4号(1991)) 第13報(29巻3号(1992))、第14報(30巻5号(1993)) 第15報(31巻3号(1994))、第16報(32巻6号(1995)) 第17報(33巻6号(1996))、第18報(34号4号(1997)) 第19報(35巻3号(1998))、第20報(36巻3号(1999)) 第21報(37巻3号(2000))、第22報(38巻2号(2001)) 第23報(39巻1号(2002))、第24報(40巻1号(2003)) 第25報(41巻1号(2004))、第26報(42巻1号(2005)) 第27報(43巻1号(2006))、第28報(44巻1号(2007)) 第29報(45巻1号(2008))、第30報(46巻1号(2009)) 第31報(47巻1号(2010))、第32報(48巻1号(2011)) 第33報(49巻1号(2012))、第34報(50巻1号(2013)) 第35報(51巻1号(2014)) * 「放射性医薬品の副作用事例報告について—調査報告書における症例数と製薬会社が収集した自発症例数との比較—」 核医学、43巻4号(2006)
核医学イメージング規格化小委員会 〔昭和51年 1月～昭和52年12月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「アンガー型シンチレーションカメラの性能試験条件」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 26, No. 10(1977)
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「核医学イメージングの規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 11(1979) * 「シンチカメラ性能の定期点検に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 30, No. 7(1981) * 「キュリーメータの試験方法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 4(1983) * 「Single Photon Emission Computed Tomography装置の性能試験条件」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 33, No. 3(1984) * 「核医学イメージングの規格化に関する勧告(1984改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983) * 「SPECT像表示の規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 8(1986) * 「核医学イメージングの規格化に関する勧告(1987年第2次改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 2～3(1988) * 「核医学イメージングのための小児への放射性医薬品投与量に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 11(1988)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「SPECT装置の回転軸ずれおよびイメージサイズ変動に関する日常試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 2(1990) * 「核医学イメージング装置の保守点検に関する実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 3(1992) * 「ガンマカメラによるデジタル画像の表示・記録に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 1(1994) * 「標準的な核医学イメージングプロトコール(1994年第3次改訂)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994) * 「日常臨床における心臓核医学検査の選択に関する試案」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 3(1996)
核医学技術専門委員会 (平成6年6月～8年5月まで核医学技術小委員会として核医学イメージング規格化専門委員会に置かれる) 〔昭和59年 6月～平成 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「核医学検査室における機器および施設等の安全管理に関するアンケート調査結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 9(1987) * 「核医学検査室における機器及び施設等の安全管理に関するアンケート調査報告 第2報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 11(1990) * 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第3報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 3(1994) * 「キュリーメータの測定精度実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994)
核医学イメージング・検査技術専門委員会 (平成8年より核医学イメージング規格化専門委員会と核医学技術小委員会が合併した) 〔平成 8年 6月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第4報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 12(1996) * 「核医学画像と形態画像 (CT/MRI) の重ね合わせの現状と普及に向けての提案」 Isotope News誌、1997年11月号 * 「デジタルガンマカメラおよびSPECT装置の定期点検」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 5(1998) * 「核医学の安全管理等に関するアンケート調査報告 第5報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 8(1999) * 「全身イメージングにおける適正スキャン速度に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 7(2002) * 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第6報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 8(2002) * 「核医学紹介シリーズ」 (平成14年10月) * 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第7報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 7(2005) * 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第8報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 7(2008)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学イメージング・検査技術専門委員会 〔平成 8年 6月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> * 核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第9報 RADIOISOTOPES誌、Vol. 60, No. 7, 8(2011) * PET装置の品質管理・品質保証に関するアンケート調査報告 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 11(2012)
医療放射線管理問題専門委員会 〔昭和53年 1月～57年 7月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「平均使用数量の導入による ^{11}C、^{13}N、^{15}O、^{18}F の1日最大使用数量の求め方」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 31, No. 7(1982)
核医学用語分類専門委員会 〔昭和53年 1月～59年11月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「医療行為の国際分類(ICPM)コード利用による全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983)
サイクロトロン核医学利用専門委員会 (平成17年11月より、「ポジトロン核医学利用専門委員会」に名称変更) 〔昭和56年 9月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> * 院内サイクロトロンにより製造される放射性薬剤の臨床利用について Isotope News誌、1983年9月号 * 「日本アイソトープ協会医学・薬学部会サイクロトロン核医学利用専門委員会において成熟技術として認定された放射性薬剤の基準と臨床使用に関する指針：I 医療施設ないし医学研究施設内の加速器等で生産された超短寿命核種の臨床利用に関する指針、II 院内サイクロトロン放射性薬剤に関する指針、III 院内サイクロトロン放射性薬剤の臨床利用に関する指針、IV サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 34, No. 11(1985) * 「院内サイクロトロン放射性薬剤の前臨床段階における安全性の評価に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 11(1986) * 「日本アイソトープ協会医学・薬学部会サイクロトロン核医学利用専門委員会において成熟技術として認定された放射性薬剤の基準と臨床使用に関する指針(続報I)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 8(1988) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1990年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 40, No. 3(1991) * 「What is PET? “Q and A” —PETをよりよく理解するために—」 * PET装置の性能評価のための測定指針(1992年4月) * PET装置の性能評価のための測定指針(1994年6月改訂) RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1994年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 6(1995)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>サイクロトロン核医学利用専門委員会 (平成17年11月より、「ポジトロン核医学利用 専門委員会」に名称変更) 〔昭和56年 9月～現在〕</p> <p>ポジトロン核医学利用専門委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1999年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 12(1999) * 「PET薬剤製造施設基準」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000) * 「FDG-PET検査の臨床的有用性と医療経済効果に関する全国調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000) * 「院内製造されたFDGを用いてPET検査を行うためのガイドライン」 核医学、38巻2号(2001) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001) * 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する解説」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001) * 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する参考資料」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1999年改定追補)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 7(2001) * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、2003年11月号 * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第2報」 Isotope News誌、2005年2月号 * 「院内製造されたFDGを用いたPET検査を行うためのガイドライン 第2版」 核医学、42巻4号(2005) * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第3報」 Isotope News誌、2006年10月号 * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第4報」 Isotope News誌、2008年1月号 * 「保険診療に認められていない悪性腫瘍(癌、肉腫)の診断における^[18F]FDG-PETの臨床的有用性—多施設アンケート調査による検討—」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 1(2008) * 「PET用放射性医薬品の合成、分注、品質管理に携わる作業者の被ばく線量調査報告」 Isotope News誌、2008年10月号 * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第5報」 Isotope News誌、2008年12月号

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射性医薬品専門委員会 〔平成 6年 6月～現在〕	* 「国内未承認放射性医薬品の現状について」 Isotope News誌、2013年4月号
放射線治療専門委員会 〔昭和57年 6月～平成 4年 5月、 平成12年 6月～現在〕	* 「医療用密封小線源の管理(RADIOISOTOPES誌講座合本)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 2～6(1987) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(初版・第二版)(2003) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第三版)(2004) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第四版)(2005)
放射線治療委員会 〔平成 4年 6月～12年5月〕	* 「前立腺癌小線源療法後1年以内死亡時の対応マニュアル」(2008) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第五版)(2011) * 「高線量率RALS安全取扱マニュアル」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 10(1999)
医療放射線管理専門委員会 〔平成 8年 9月～現在〕	* 核医学診療施設における研究ボランティアの放射線被ばくの現状と今後の課題 —RIを投与する臨床研究または治験を受けるボランティアの被ばくに関するアンケート調査報告— RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 11(2010)
核医学診療実態調査専門委員会 (平成8年より「全国核医学診療実態調査専門委員会」に名称変更)	* 「第2回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 38, No. 4(1989) * 「第3回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 9～10(1993)
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成 8年 6月～10年 5月〕	* 「第4回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 8(1998)
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成13年 9月～16年 5月〕	* 「第5回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 8(2003) * Nuclear medicine practice in Japan: A report of the 5th nationwide survey in 2002 Annals of Nuclear Medicine Vol. 18, No. 1
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成18年10月～20年 5月〕	* 「第6回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 8(2008) * Nuclear medicine practice in Japan: a report of the sixth nationwide survey in 2007 Annals of Nuclear Medicine Vol. 23, No. 2
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成23年10月～25年 9月〕	* 「第7回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 62, No. 8(2013)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>アイソトープ内療法専門委員会 〔平成18年 5月～現在〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」(初版)(2007) * 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」(第二版・第三版)(2008) * 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(初版)(2008) * 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」(第四版)(2009) * 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」(第四版第二刷)(2011) * 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」(第五版)(2013) * 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(第二版)(2009) * 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(第二版第二刷)(2011)
<p>標識抗体医学利用専門委員会 〔昭和63年 4月～平成 3年 5月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「医学研究施設内で作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 12(1990) 核医学、第28巻3号(1991) 日本医放会誌、第51巻5号(1991)
<p>放射性医薬品施設内管理専門委員会 〔平成 1年10月～ 4年 5月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「放射性医薬品の施設内取扱に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 2(1992)
<p>免疫核医学専門委員会 〔平成 5年 7月～ 8年 5月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「遺伝子組換え技術を応用して作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994) * 「RI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8(1995)

4. 放射線安全取扱部会 *

* 平成24年4月に、放射線取扱主任者部会より名称変更

4.1 組織改正以前（昭和34年12月～平成 4年 5月）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
東京常任委員会 〔昭和34年12月～平成 4年 5月〕	* Isotope News No. 68～382「主任者コーナー」の編集（1960.4～1992.5） * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第5～36回） Isotope News(1961～1992) * 「放射線施設の火災対策」（1961） * 「密封小線源の取扱」（1962） * 「個人外部被ばくモニタリングの手引き」（1964） * 「放射線管理実務マニュアルⅠ」（1983） * 「放射線施設の火災・地震対策」（1985） * 「外部被ばくモニタリング」（1986） * 「千葉県東方沖地震状況調査」 Isotope News 1988年8月号 * 「千葉県東方沖地震状況調査」 Radioisotopes 38,2(1989) * 「改訂放射線管理実務マニュアルⅠ」（1989） * 「放射線障害防止教育訓練用OHPシート」（1991） * 「放射線管理実務マニュアルⅡ」（1991） * 「現行法令の課題」（1992）
関西常任委員会 〔昭和36年 7月～平成 4年 5月〕	* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第1～33回） Isotope News(1961～1992) * 「放射線とアイソトープ」（1962）
中部常任委員会 〔昭和55年 6月～平成 4年 5月〕	
北海道地方委員 〔平成 2年 4月～平成 4年 5月〕	
東北地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕	
九州地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕	
基盤整備委員会 〔平成 2年11月～平成 3年 3月〕	* 「平成3年度主任者研修会（第32回部会総会）要旨集（補冊）」（1991） 基盤整備委員会報告書
新体制移行委員会 〔平成 3年 9月～平成 4年 3月〕	

4.2 組織改正以後（平成 4年 6月～現在）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>【本部組織】 本部運営委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・企画専門委員会 (平成24年4月～企画委員会より名称変更) 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・広報専門委員会 (平成24年4月～広報委員会より名称変更) 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・法令検討専門委員会 (平成24年4月～法令検討委員会より名称変更) 〔平成 4年 6月～現在〕</p>	<p>* 「主任者部会設立50周年資料集」 平成24年9月 (2012)</p> <p>* 「東日本大震災放射線施設状況調査報告」 Isotope News, 2012, 7月号, P.61</p> <p>* 「平成4年度主任者研修会（第33回部会総会）要旨集」（1992）</p> <p>* 「21世紀の主任者部会活動に向けて」（1996）</p> <p>* ニューメディア教育訓練用教材CD-ROM試作版（1999年8月）</p> <p>* Isotope News No.383～719「主任者コーナー」の編集（1992.6～2014.3）</p> <p>* 「主任者ニュース」第1～19号編集（1995～2013）</p> <p>* 「改訂3版 放射線管理実務マニュアルⅠ」平成5年9月（1993）</p> <p>* 法令検討委員会報告（案）（現行法令の課題）（平成11年10月）</p> <p>* 法令検討委員会報告（現行法令の課題）平成12年度主任者年次大会要旨集, 2000, P. 223</p> <p>* 法令改正への対応に際してのQ&A（1） Isotope News, 2001, 6月号, P.47</p> <p>* 法令改正への対応に際してのQ&A（2） Isotope News, 2001, 7月号, P.50</p> <p>* Q&A：BSS免除レベルの取り入れで法令はどう変わるのか Isotope News, 2003, 11月号, P.63</p> <p>* 法令検討委員会報告書「放射線取扱主任者のあり方」について Isotope News, 2004, 7月号, P.79</p> <p>* 改正法令に関するQ&A：放射線障害防止法及び関係政省令等の改正について Isotope News, 2005, 6月号, P.45</p> <p>* 「事業主の責務と放射線取扱主任者のあり方について」 Isotope News, 2006, 4月号, P.76</p> <p>* 「放射性同位元素使用施設等で発生する廃棄物のクリアランスについての現状」 Isotope News, 2006, 10月号, P.11</p> <p>* クリアランスを巡る最近の動きについてークリアランスの運用状況及びICRPの新勧告ー Isotope News, 2008, 5月号, P.64</p> <p>* 放射線管理Q&A Isotope News, 2009, 10月号, P.63</p> <p>* 放射線管理Q&A Isotope News, 2010, 11月号, P.50</p> <p>* 放射線管理Q&A Isotope News, 2012, 11月号, P.57</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> ・組織化推進委員会 〔平成 8年 6月～平成14年 5月〕 	<ul style="list-style-type: none"> * 「選任放射線取扱主任者のアンケート調査」結果報告 Isotope News, 2000, 6月号, P. 53 * 「組織化推進委員会活動報告」 Isotope News, 2002, 7月号, P. 49
<ul style="list-style-type: none"> ・主任者部会－21世紀のあり方検討委員会 〔平成 8年11月～平成12年 5月〕 	<ul style="list-style-type: none"> * 「主任者部会・21世紀のあり方」中間報告書 平成11年度主任者年次大会要旨集, 1999, P. 135 * 「主任者部会・21世紀のあり方」報告書 (平成11年11月)
<ul style="list-style-type: none"> ・放射線管理技術検討委員会 〔平成10年 4月～平成14年 5月〕 	<ul style="list-style-type: none"> * 「放射線施設の遮蔽能力・放射性物質飛散率評価に関する調査研究（中間報告）」(1998) * 「放射線管理技術検討委員会活動報告」 Isotope News, 2002, 10月号, P. 63
<ul style="list-style-type: none"> ・製薬放射線委員会 〔平成10年 6月～平成12年 5月〕 	<ul style="list-style-type: none"> * 「ラジオアイソトープを用いた動物実験での文献調査－飛散率について－」 RADIOISOTOPES誌 Vol. 47, No. 11(1998)
<p>【 支部組織 】</p> <p>北海道支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「北海道東方沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News, 1995, 10月号, P. 79 * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第58回) Isotope News(2013)(生物学) * 「平成11年度主任者年次大会（第40回主任者研修会）要旨集」(1999) * 「平成19年度主任者部会年次大会（第48回放射線管理研修会）要旨集」(2007)
<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度主任者年次大会実行委員会 ・平成19年度主任者部会年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「三陸はるか沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News, 1995, 10月号, P. 74
<p>東北支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 7年度主任者年次大会実行委員会 ・平成16年度主任者部会年次大会実行委員会 ・平成23年度主任者部会年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第58回) Isotope News(2013)(物理学) * 「平成 7年度主任者年次大会（第36回主任者研修会）要旨集」(1995) * 「平成16年度主任者部会年次大会（第45回放射線管理研修会）要旨集」(2004) * 「平成23年度主任者部会年次大会（第52回放射線管理研修会）要旨集」(2011)
<p>関東支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会（～2012） ・平成 8年度主任者年次大会実行委員会 ・平成12年度主任者年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第37～57回) Isotope News(1992～2013) * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第58回) Isotope News(2014)(管理測定技術) * 「平成 8年度主任者年次大会（第37回主任者研修会）要旨集」(1996) * 「平成12年度主任者年次大会（第41回主任者研修会）要旨集」(2000)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>関東支部委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度主任者部会年次大会実行委員会 ・平成21年度主任者部会年次大会実行委員会 <p>中部支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会（～2012） <ul style="list-style-type: none"> ・平成5年度主任者年次大会実行委員会 ・平成13年度主任者年次大会実行委員会 ・平成20年度主任者部会年次大会実行委員会 <p>近畿支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会（～2012） <ul style="list-style-type: none"> ・平成6年度主任者年次大会実行委員会 ・平成14年度主任者年次大会実行委員会 ・平成22年度主任者部会年次大会実行委員会 <p>中国・四国支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成9年度主任者年次大会実行委員会 ・平成17年度主任者部会年次大会実行委員会 ・平成24年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会 <p>九州支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成10年度主任者年次大会実行委員会 ・平成18年度主任者部会年次大会実行委員会 ・平成25年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成15年度主任者部会年次大会（第44回放射線管理研修会）要旨集」（2003） * 「平成21年度主任者部会年次大会（第50回放射線管理研修会）要旨集」（2009） <ul style="list-style-type: none"> * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第35, 49, 51, 52, 53, 54回） Isotope News 1993, 2008, 2010, 2011, 2012, 2013年1月号 * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第55回）Isotope News(2014) * 「平成5年度主任者年次大会（第34回主任者研修会）要旨集」（1993） * 「平成13年度主任者年次大会（第42回主任者研修会）要旨集」（2001） * 「平成20年度主任者部会年次大会（第49回放射線管理研修会）要旨集」（2008） * 「阪神・淡路大震災の被災施設状況調査および救済活動報告」 Isotope News, 1995, 4～8月号 * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第34, 36～54回） Isotope News(1992, 1994～2013) * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第55回）Isotope News(2014) * 「平成6年度主任者年次大会（第35回主任者研修会）要旨集」（1994） * 「平成14年度主任者年次大会（第43回主任者研修会）要旨集」（2002） * 「平成22年度主任者部会年次大会（第51回放射線管理研修会）要旨集」（2010） <ul style="list-style-type: none"> * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第58回）Isotope News(2014)（法令） * 「平成9年度主任者年次大会（第38回主任者研修会）要旨集」（1997） * 「平成17年度主任者部会年次大会（第46回放射線管理研修会）要旨集」（2005） * 「平成24年度放射線安全取扱部会年次大会（第53回放射線管理研修会）要旨集」（2012） <ul style="list-style-type: none"> * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第58回）Isotope News(2014)（化学） * 「平成10年度主任者年次大会（第39回主任者研修会）要旨集」（1998） * 「平成18年度主任者部会年次大会（第47回放射線管理研修会）要旨集」（2006） * 「平成25年度放射線安全取扱部会年次大会（第54回放射線管理研修会）要旨集」（2013）

事務局組織

学術振興部

学術・出版課 TEL (03)5395-8081、(03)5395-8082 FAX (03)5395-8053

- ・理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会、放射線安全取扱部会事務局
- ・アイソトープ・放射線研究発表会事務局
- ・RADIOISOTOPES誌の編集・発行
- ・法令集、専門書、ICRP勧告日本語版の編集・発行
- ・教育用DVDの編集
- ・輸送標識の頒布

企画部

広報課 TEL (03)5395-8035 FAX (03)5395-5652

- ・Isotope News誌の編集・刊行
- ・一般向け図書の編集・刊行
- ・放射線を業として取り扱ったことのない人を対象とした講習会への講師派遣

技術部

研修課 TEL (03)5395-8083 FAX (03)5395-8053

- ・第1種放射線取扱主任者講習【原子力規制委員会登録】
- ・第3種放射線取扱主任者講習【原子力規制委員会登録】
- ・放射線取扱主任者定期講習【原子力規制委員会登録】
- ・第一種作業環境測定士（放射性物質）講習【厚生労働省登録】
- ・アイソトープ基礎技術入門講習
- ・その他講習会の事務窓口

滝沢研究所 TEL (019)688-1811 FAX (019)688-1813

- ・サイクロトロンセンターの共同利用（仁科記念サイクロトロンセンター）
（PIXE分析、PETの利用）
- ・RI利用、医学利用展示（武見記念館）

本資料の発行及び問い合わせ先
(公社) 日本アイソトープ協会学術振興部
〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45
TEL (03) 5395-8081 FAX (03) 5395-8053